令和7年度若年技能者人材育成支援等事業 実施計画

広島県技能振興コーナー

【ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務等について】

区 分	事 項
(1) ものづくりマイスターの開拓	<p>○ コーディネーター、担当職員による企業、業界団体、教育訓練機関等への訪問（月10回以上）や県内中小企業を支援している公的支援機関（ひろしま産業振興機構）等からの情報収集により、企業等が必要とする人材育成ニーズを把握する。</p> <p>○ ニーズがありながらも、ものづくりマイスターが不足している職種については、ひろしまマイスター、企業等の優秀技能者、技能検定委員経験者及び技能検定に係る業務推進員等のネットワークを活用するなどして積極的に開拓する。</p> <p>【活動目標】 ものづくりマイスター新規認定数：12人</p> <p>○ 新規認定職種のうち、これまで「熟練技能者による派遣指導」で実績があり、認定要件を満たす者については、積極的に申請手続きを支援する。</p> <p>○ 過去3年間に一度も活動実績のないものづくりマイスターに対して、引き続き活動する意志があるか否かを確認するとともに、活動意志のないマイスターには登録解除の手続きを行う。</p>
(2) ものづくりマイスターに対する研修	<p>○ ものづくりマイスターの指導技法の習得・向上のため、認定されたものづくりマイスターを対象とした、「指導技法等講習」を実施する。</p> <p>（研修の開催頻度や時期）</p> <p>○ 年2回程度を目安に、指導技法を学んだ講師による講義形式により実施する。</p> <p>（研修内容）</p> <p>○ 中央技能振興センターの準備する「指導技法等講習」の実施に関する支援を活用する。</p> <p>【指導技法等講習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導技法（センターの準備する資料を使用） ・ 実技指導結果報告書の作成方法等 ・ 個人情報の保護、セクハラ・パワハラの防止 ・ 若年者・学生との接遇、派遣依頼元の意見事例等

【ものづくりマイスターの活用に係る業務】

区 分	事 項
(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等	<p>○ 人材育成等の見識を有するコーディネーター（1名配置）や担当職員が、要請のあった企業・工業高校等を訪問し、面談等によりニーズを把握したうえで、技能検定試験等を活用した人材育成や、ものづくりマイスターの派遣やそのためのコーディネート（指導内容、日数・時間、ものづくりマイスター選定等）を行うなど、効果的な技能人材育成を行う環境をコーディネートする。</p> <p>○ 相談・援助窓口として、コーディネーターや専門的な知識を持った担当職員が企業等からの電話や来訪者への応対に常時あたるなど、企業、業界団体等からの相談等に対応できる体制を整備する。</p> <p>○ ものづくりマイスター等の工業高校等への派遣については、行政とのネットワークを活かし、必要に応じて広島県教育委員会等と連携して、派遣制度の周知や実施に向けた協力を得る。</p>
(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施	<p>○ 中小企業、業界団体や工業高校等学校からの派遣要請に基づき、派遣内容について丁寧に説明するとともに、最適なものづくりマイスターを選定し、技能検定実技試験問題、技能競技課題等を教材として、訓練指導ニーズに応じた実技指導を実施する。</p> <p>(派遣対象企業等・指導対象者)</p> <p>① 中小企業・業界団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣日数：250日以上 ・派遣社数：25社以上 ・活動目標数（延べ受講者数）：<u>850人日以上</u> <p>② 工業高校等学校及び専修学校・各種学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣日数：225日以上 ・派遣学校数：40校以上 ・活動目標数（延べ受講者数）：<u>900人日以上</u> <p>〔ものづくりマイスター派遣による指導の実施〕</p> <p>●活動目標合計（①+②） <u>1,750人日以上</u></p> <p>(派遣指導内容)</p> <p>○ 派遣指導内容は、派遣対象企業等のニーズに応じて、柔軟に設定する。ただし、指導レベルは中小企業等にあっては技能検定2～3級程度、工業高校等にあっては技能検定3級程度のレベルを目安とする。</p>

区 分	事 項
(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信	<p>(地域若者サポートステーション事業の支援者に対する「ものづくりの魅力」発信)</p> <p>① 地域若者サポートステーションからの要請に基づき支援を要する若者等を対象に、ものづくりマイスターを活用したものづくり体験教室等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣日数：3日以上 ・派遣箇所数：3か所以上 ・活動目標数(延べ受講者数)：<u>20人日以上</u> <p>(小中学校等の児童・生徒に対する「ものづくりの魅力」発信)</p> <p>② 小中学校からの要請に基づき、児童・生徒を対象に、ものづくりマイスターを活用したものづくり体験教室等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣日数：6日以上 ・派遣学校数：6校以上 ・活動目標数(延べ受講者数)：<u>130人日以上</u> <p>(公共施設等における「ものづくりの魅力」発信)</p> <p>③ 公民館・集会所等の公共施設又はショッピングモール等民間施設のイベントエリア等で、主に小中校生及びその保護者等を対象にものづくりの体験や実演等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣日数：15日以上 ・派遣箇所数：15か所以上 ・活動目標数(延べ受講者数)：<u>1,700人日以上</u> <p>[若者に対する「ものづくりの魅力」発信]</p> <p>●活動目標合計(①+②+③) <u>1,850人日以上</u></p>
(4) 熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信事業の実施	<p>○ 高い技能を有する熟練技能者等を中小企業や工業高校等教育機関の要請に応じて派遣し、技能検定実技試験問題や技能競技大会の競技課題等を活用し、若年技能者への実技指導を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和7年4月～令和8年3月 ・実施回数：中小企業 2社 教育機関 4校 ・対 象：中小企業、工業高校等教育機関 ・実施職種：メカトロニクス、西洋料理、とびなど

(地域における技能振興事業の実施)

区 分	事 項												
(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等	○ 技能五輪全国大会参加選手の強化期間を考慮し、技能五輪全国大会の予選を実施するとともに、技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加を援助することとし、若年者の技能レベル向上等を図ることとする												
ア 技能五輪全国大会の予選の実施	○ 第 64 回技能五輪全国大会参加選手選考のための予選を実施する。 【実施計画】 ・実施時期：令和 8 年 1 月～ 3 月 ・実施場所：広島市、福山市 ・参加者計画：計 2 0 人程度 (競技職種等) 3 職種（電工、電気溶接、西洋料理）												
イ 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施	○ 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会に、中小企業等の若年技能者が選手として参加する場合、当該選手及びその指導者の旅費、宿泊費及び工具運搬費を援助する。 (支援予定人員)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">選 手</th> <th style="text-align: center;">指 導 者</th> <th style="text-align: center;">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">技能五輪全国大会</td> <td style="text-align: center;">2 3 人</td> <td style="text-align: center;">1 7 人</td> <td style="text-align: center;">4 0 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">若年者ものづくり競技大会</td> <td style="text-align: center;">1 0 人</td> <td style="text-align: center;">6 人</td> <td style="text-align: center;">1 6 人</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	選 手	指 導 者	合 計	技能五輪全国大会	2 3 人	1 7 人	4 0 人	若年者ものづくり競技大会	1 0 人	6 人	1 6 人
区 分	選 手	指 導 者	合 計										
技能五輪全国大会	2 3 人	1 7 人	4 0 人										
若年者ものづくり競技大会	1 0 人	6 人	1 6 人										
(2) 卓越した技能者の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援	○ 中央技能振興センターが示す編集方針に沿って、卓越した技能者の被表彰者に対して取材等を行い、取材結果をセンターに提出する。												

(地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営)

区 分	事 項
(1) 連携会議の設置	<p>○ 学識経験者、経営団体、労働組合組織、労働局、地方公共団体、教育関係機関等の関係者をメンバーとした連携会議を設置し運営する。</p> <p>○ 連携会議の構成 ※ () 内は人数を表す</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学識経験者(2)、広島県中小企業団体中央会(1)、広島労働局(1) 日本労働組合総連合会広島県連合会(1)、広島県商工労働局(1) 広島県教育委員会(1)、マツダ技能士会(1)、 (株)日本製鋼所広島製作所(1)、広島建設アカデミー(1)</p> </div>
(2) 連携会議の開催回数	<p>○ 連携会議は年2回開催し、第1回目は年度当初に開催し、前年度の事業実施報告と本年度の推進計画の決定等、第2回目は12月に開催し、本年度の事業実施状況及び次年度に向けた改善事項等の報告について審議等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：2回 ・開催予定時期：4月、12月
(3) 都道府県労働局との連携	<p>○ 広島労働局と協議し、県内のハローワークにもものづくりマイスター派遣のチラシ等を配置するなどし、ハローワークを利用する企業や学校等に対してもものづくりマイスター派遣制度の周知を図る。</p> <p>○ また、ものづくりマイスターの派遣に関して、興味・関心等を示した企業・学校等に対してはコーディネーターが訪問し、派遣をコーディネートすることで実技指導の具体化につなげる。</p>

(全国斉一的な事業展開の担保)

区 分	事 項
全国斉一的な事業展開の担保	<p>全国会議等への出席などにより、本事業の円滑な業務指導の実施、業務調整等を図り全国斉一的な事業展開ができるよう対応する。</p>

(成果目標)

成果目標	目標値
① ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度	90%以上
② ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした受講者の割合	90%以上
③ ものづくりマイスターの授業等への講師派遣を利用した学校の満足度	90%以上
④ ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合	90%以上

(活動目標)

活動目標	目標値
ものづくりマイスター派遣指導 活動数（受講者延べ人日）	3,600人日以上
ものづくりマイスター 新規認定数（人）	12人以上